

次号予告

特集 ニューロマーケティング

ニューロマーケティングの現状、課題そして展望.....熊倉広志(中央大学)
ニューロマーケティングと意思決定研究.....竹村和久(早稲田大学)
機能的磁気共鳴画像法(fMRI)による生体反応の測定.....茨木拓也((株)NTTデータ経営研究所),
矢野 亮((株)NTTデータ), 萩原一平((株)NTTデータ経営研究所)
脳波(EEG)およびアイトラッキングによる生体反応の測定.....大須理英子・古畑裕之(ニールセン)
脳血流測定(光トポグラフィ)のリサーチへの応用について
.....三浦ふみ((株)インテージ, 中央大学), 山本直人((株)インテージ)

メーリングリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメーリングリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.osrj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

編集後記

●本号の特集は「はじめよう金融工学」です。私が金融工学について初めて知ったのは卒業研究配属のときでした。当時、配属された研究室が慶應義塾大学と共同で研究会を開催しており、そこに今回の特集でもご寄稿いただいている枇々木先生が慶應の博士の学生(!)としていらっしゃった関係で、当時、さまざまな研究を聞かせていただきました。今ではほとんど面影もないのですが、実は私の卒業研究の題材は資産負債管理に関する最適化モデルでした。今から考えると赤面ものの内容ではありましたが、数学が経営問題の解決に使えるんだということを実感したのはこのときが初めてでした。改めて本号の特集を拜読させてい

ただき、金融分野に関するORの活躍ぶりを改めて確認できたとともに、金融工学の領域の拡がりを確認することができました。2008年のリーマンショックにおけるクレジット・デフォルト・スワップや近年のアルゴリズムトレードによる高頻度取引など、一見すると負の面ばかりが目立つ金融の世界ですが、ビッグデータやFinTechといった金融に関係する情報化社会を牽引する新しい単語も登場しています。従来の社会活動全体を支える潤滑油としての役割だけでなく、新たなサービスや産業を生み出すことも金融の新たな面として期待されると思います。その中での推進エンジンとして、ORにますます期待をしたいと思います。

(生田目 崇)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 猿渡 康文(筑波大学)
特集担当編集委員 高野 祐一(専修大学)
委員 池辺 淑子(東京理科大学), 石井 儀光(国立研究開発法人建築研究所), 井床 利生(日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所), 鶴飼 孝盛(東海大学), 小林 隆史(東京工業大学), 坂本 英夫(株式会社東芝), 佐久間 大(防衛大学校), 笹谷 俊徳(東京ガス株式会社), 佐藤 圭介(公益財団法人鉄道総合技術研究所), 高野 祐一(専修大学), 中原 孝信(専修大学), 生田目 崇(中央大学), 蓮池 隆(早稲田大学), 原田 耕平(株式会社NTTデータ数理システム)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成28年6月号 第61巻 第6号 通巻666号

代表者 大山 達雄

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.osrj.or.jp/>

編集人 猿渡 康文

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社(Tel 03-3546-1337)へ。